ハンカチに描かれたソ連軍の色丹島上陸

～色丹島出身の西田　貞夫さん～

色丹島斜古丹湾全景

ハンカチの絵は、昭和二十年九月一日にソ連軍が色丹島斜古丹に上陸したときの様子を描いたものです。斜古丹湾に浮かぶ黒い二隻の船がマタコタン側から描かれています。

当時、色丹島に軍医として滞在していた山田元氏が高森軍曹に依頼して描いてもらったもので、大切に保管していた山田さんから、色丹島出身の西田貞夫さんに贈られたものです。

西田貞夫殿

　昭和２０年９月１日当時の斜古丹の絵です。

　鈴木鈴雄さんは知っていると思ひますが大浜大隊安村中隊の高森軍曹に描いてもらった絵です。

　絵筆がない時によく描いてくれたものと思います。その絵を持って、国後島古釜布、樺太の昔の国境あたりの気屯まで持って行き、昭和２３年１１月４日函館まで肌身はなさず、ソ連兵に分からない様に持って来たものです。故郷色丹島に思はれる貴殿に差し上げます。

　　Ｈ８．１０．４　稲沢市　山田元

額縁の裏には、山田さんがこの絵を西田さんに贈った際の手紙の写しが残されています。